

令和元年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

	推薦者	団体	個人	主な功績
1	埼玉県	こしがやしてわちくじちか 越谷市出羽地区自治 いれんごうかい 会連合会		平成19年に「新川とことん水質改善推進大会」を開催し、綾瀬川及び新川の水質改善や合併処理浄化槽の転換、維持管理をテーマとした勉強会の開催をはじめとして、平成28年からの家庭排水気づかい運動(米のとぎ汁の最初の2回を排水せずに庭の畑や植木などに撒く)や家庭排水チェックシートを使用した家庭排水削減の取り組みを実施、平成30年から、埼玉県のふるさとの川復活事業(出羽地区での合併処理浄化槽の転換促進や地域のお祭りでの水質改善効果のPR)に協力するほか、毎年、自治会単位での河川の清掃活動や浄化槽の勉強会など様々な取り組みを行っている。
2	千葉県	かわ、かい 川いい会		会発足以降の長期にわたって、年1回の水辺の生物調査活動を毎年実施し、児童を中心に河川環境を学ぶ機会を提供することで本団体は水環境保全の啓発に継続的に貢献している。 また、若年層の河川愛護精神の高揚は、今後も河川環境を維持・改善する上で必要不可欠であり、本団体の活動は水環境保全に非常に有意義である。
3	富山県	たき、ほぞんかい 滝ホテル保存会		とやまの名水に選定されている「旧六ヶ用水」とその周辺において、用水の清掃や草刈りなどのホテルの保護活動を長年にわたり継続して実施し、ホテルの住む水辺環境の保全に努め、また、毎年6月頃にホテルの観察会を開催するとともに、地域の児童と一緒にホテルの幼虫の餌となるカワニナを放流するなど、地域の水環境保全意識の高揚に大きく貢献している。
4	富山県	やなぎはらじちかい 柳原自治会、 めがわふくじちかい 目川福寿会		全国名水百選「黒部川扇状地湧水群」の一つであり、全国でも珍しい平野部の湧水地に生育するスギの自然林として国指定天然記念物にもなっている「杉沢の沢スギ」において、地元の小学生とともに年2回の定期的な清掃活動などを40年以上にわたって実施し、スギの生育を支える豊かな湧水地や、年間の温度変化が少ない湧水池の周辺でみられる暖地性と山地性の植物が同時に生育する貴重な植生など、水辺環境の保全に尽力している。 また、地元の小学生を対象に、昔の沢スギの様子や沢スギの保全の大切さを伝えるなど、地域の水環境保全意識の高揚に大きく貢献している。
5	長野県		ほりじゅんいち 堀 順一	昭和51年4月に長野県職員に採用され、長野県諏訪保健所等で12年間水質検査などの検査業務に携わった後、これまでの経験を活かして8年間水道業務に係る水質検査にも従事した。 平成14年度以後は研究所の水質部、環境保全部、水・土壌環境部において、仁科三湖や主要河川等で水質底質調査研究に関わった。さらに、長野県のダムによらない利水対策の方針を受け、地下水の窒素汚染対策を進めるため、豊丘村の地下水保全対策モデル事業に取組み、地下水汚染の原因究明に尽力し、地下水保全対策に大きく貢献した。 また、平成25年度には湖沼自然浄化活用事業(環境省委託事業)に取組み、湖沼の水質保全対策にも大きく貢献した。
6	長野県		たかだ ひとし 高田 均	昭和50年代以降今日に至るまで、幅広く多大な生活排水処理に係る現場経験・知識を活かし、生活排水処理施設(下水道・水質汚濁防止法のし尿処理施設(特定施設)等)の適正化による河川浄化を目指す行政からの相談に応え、支援し続けた。また、長野県北信地域の下水道等管理業者の中心的役割を果たし技術の伝承等後進の指導に当たっている。 近年は、中野市において農業集落排水(特定施設)の省エネ化の研究に協力し、また、飯山市の特定環境保全公共下水道の改善を図るため、維持管理業者を支援・助言し、設備改善・長寿命化等の提案をしている。現在も豊富な知識・経験を活かし、公共下水道へのし尿投入に係る設備選定の留意点等、行政の求めに応じ助言している。

令和元年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

	推薦者	団体	個人	主な功績
7	愛知県		かとう えいこ 嘉藤 栄子	平成21年4月に生活排水クリーン推進員に着任し、以降10年半にわたり地域の生活排水対策に係る啓発活動において中心的な役割を担っており、地域住民や他の地区の生活排水クリーン推進員と協働して、地域住民を対象とした廃食用油を使用した石けんづくりの体験講座を行うなど、生活排水向上を広く啓発活動している。さらに、今年度は大府市の環境基本計画策定の作業部会の委員として参加しており、生活排水対策の観点から積極的な意見で貢献している。大府市内の生活排水クリーン推進員の中でも任期が長く経験が豊富なため、全体研修会の場において他の生活排水クリーン推進員に啓発方法を教えるなど、他の模範とするところである。
8	滋賀県		こばやし いづみ 小林 泉	昭和53年に県庁入庁以来、36年間一貫して環境行政に従事し、そのうち、琵琶湖の環境保全を中心に、水質・土壌環境行政の業務に19年間携わられた。平成20年以降は、琵琶湖本来の姿を取り戻すため、県民、企業、団体、行政等が立場を超えて集まる場であるマザーレイクフォーラムの立ち上げ、琵琶湖の良好な利用環境の確保のため「滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例」の改正、平成27年9月に公布・施行された「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」制定に係る調整、琵琶湖内湖のもつ生態系保全機能や水質保全機能等を生かした内湖再生の取組を推進するため「早崎内湖再生事業」に対して中心となって尽力されるなど、在職中の功績は顕著である。
9	徳島県	あなんしりつおおのしょう 阿南市立大野小学 がっこう 校		学校近くを流れる「那賀川」で、毎年4年生が参加し、川の水質や水生生物を調査するなど、地域の水環境保全・普及啓発に貢献をしている。
10	徳島県	あなんしかもだ・いしま・つば 阿南市蒲生田・伊島・ きどまり・つばきしょうさん 椿泊・椿賞賛推進会 すいしんかいぎ 議		室戸阿南海岸国定公園に属し、景勝地として市の観光資源である「蒲生田海岸」において、地元住民、地元小・中学生、県内各地のボランティア等の協力を得て、海岸に漂着したプラスチックゴミの分別回収など環境美化活動に努めるとともに、植物観察会や小・中学校へのウミガメ「出前講座」等地域における環境教育にも積極的に取り組んでいる。
11	香川県	あやがわちょうりつあやかみしょうがっこう 綾川町立綾上小学校		身近な川に関心を高め、水環境保全活動に理解を深めることを目的に、総合学習の一環として年1回(6月～7月)に綾川上流付近で水生生物による水質調査を継続して行っている。4年生を中心に、環境カウンセラーや県関係者、綾川町住民生活課職員とともに現地を訪れ、そこに生息する生き物(指標生物)を捕獲・調査している。結果は県のホームページにも掲載し、水環境保全啓発活動にも貢献している。
12	香川県	かがけんりつちかまつしょうぎょう 香川県立高松商業 ことうがっこうか がくぶ 高等学校科学部		身近な川に関心を高め、水環境保全活動に理解を深めることを目的に、部員で年1回(7月～8月)に香東川下流で水生生物による水質調査と河川清掃を平成17年以降11年間にわたり行っている。

団体 8

個人 4

合計 12